

記者発表資料
平成28年 3月 8日(火)
秘書広報課 広報広聴係
担当:高館、後藤(内線208)

全国の自治体広報紙に気仙沼市の記事が掲載されています

—自治体広報紙を活用した情報発信による支援—

■昨年12月に全国市長会が、自治体広報紙を活用した東北被災3県や個別に交流のある被災自治体に関する情報発信について、全国の自治体に協力依頼を行ったところ、本市に職員派遣等の支援をいただいている7自治体から、観光等の情報を広報紙に掲載し支援したいとの申し出がありました。

■これは、震災から5年が経過しようとしている今も、東北被災3県の産品に対する風評被害が少なからず残っているとの情報があり、これを払拭するため、被災地の情報を正確に分かりやすく、全国に発信していく必要があるとの考えにより、全国市長会に行っていただいた取組です。

■掲載にあたり、本市より掲載記事や写真の提供を行い、3月を目安に各自治体広報紙に本市の観光PR記事や派遣職員レポートなどを掲載いただいています。

■本市は、全国の自治体から職員派遣など、多大なご支援、ご協力により、着実に復興事業を進めているところですが、今回の記事掲載という新たなご支援に対し、あらためて感謝申し上げます。

【支援いただいた自治体と掲載内容について】

平成28年3月1日現在

No.	自治体名		掲載時期	掲載内容
1	東京都	北区	3月10日号	区HPに本市HP「震災復興サイト」・「気仙沼観光プラス！」のリンクを設置。その内容について区広報に掲載(別紙参照)
2	愛知県	小牧市	2月15日号	本市観光PR記事・派遣職員レポート等を掲載(別紙参照)
3	岐阜県	岐阜市	3月15日号	本市観光PR記事を掲載
4	和歌山県	海南市	3月1日号	本市観光PR記事を掲載(別紙参照)
5	兵庫県	明石市	3月1日号	本市観光PR記事を掲載(別紙参照)
6	愛媛県	新居浜市	3月1日号	本市観光PR記事・派遣職員レポート等を掲載(別紙参照)
7	鹿児島県	霧島市	3月号	震災特集記事。派遣職員レポートを交え、本市の現状を掲載。(別紙参照)

No.1 北区ホームページ

被災地の復興支援に関するサイト

北区では、岩手県釜石市と宮城県気仙沼市に職員を派遣し、被災地の復興支援を継続しています。こちらのサイトでは、各地域の最新情報を発信しておりますので、是非、サイトのバナーをクリックして、ご覧ください。

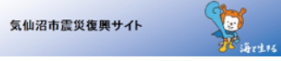
釜石市ホームページ



かまishi情報ポータルサイト「緑とらんず」



気仙沼市震災復興サイト



気仙沼観光プラス!



No.4 明石市広報(3/1号)

東日本大震災から5年 引き続き被災地の復興支援を!

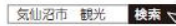
平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、まもなく5年を迎えます。被災地の復旧・復興は少しずつ進んでいるものの、今も多くの方が避難生活を余儀なくされています。また、被災地産品への風評被害が残るなど、被災地の復興はまだ道半ばにあります。明石市では、震災直後から宮城県気仙沼市に職員の派遣を行っているほか、被災地での支援活動や物資の提供などを行ってきました。今後も被災地のニーズに応じ、可能な限り被災地支援を行っていきます。 お問い合わせ／広報課 TEL 918-5001

気仙沼市ってこんなまち

気仙沼市は、宮城県北東部の太平洋沿岸にある、人口約6万7000人の港町です。日本一の水揚げ量を誇る生鮮カツオをはじめ、フカヒレやサマメなどの美味しい海の幸や、美しい自然を楽しめる観光名所など、魅力がいっぱいです。復興に向け歩みを進める気仙沼市に、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



気仙沼市の観光・物産情報について詳しくは
 ○気仙沼市観光課 TEL 0226-22-3438
 ○一般社団法人 気仙沼観光コンベンション協会 TEL 0226-22-4560



新居浜市広報(3/1号)

被災復興支援特集 東日本大震災から5年

がはる東北 気仙沼を紹介 行って買って食べて応援

新居浜市は、東日本大震災から5年を迎えます。被災地の復興支援を継続しています。新居浜市では、被災地での支援活動や物資の提供などを行ってきました。今後も被災地のニーズに応じ、可能な限り被災地支援を行っていきます。

気仙沼市観光課 TEL 0226-22-3438

一般社団法人 気仙沼観光コンベンション協会 TEL 0226-22-4560

No.2 小牧市広報(2/15号)

そして新たな魅力をご紹介

新たな産業・観光拠点「新魚市場」着工へ!

宮城県 気仙沼市

新魚市場の建設が完了し、着工しました。新魚市場は、気仙沼市の新たな産業・観光拠点として、地域の活性化に大きく貢献する予定です。

気仙沼市観光課 TEL 0226-22-3438

No.5 海南市広報(3/1号)

宮城県気仙沼市

株式会社気仙沼産業センター (TEL 0226-24-5755)

平成26年7月にリニューアルした「気仙沼 海の市」は、魚市場に隣接し、市の水産物の復興と観光、物産の拠点施設として観光客をはじめ、多くの来訪者で賑わっています。館内は、世界第二大漁場が育んだ最高の美味を味わえる「グルメ」、鮮魚・加工品、市の特産などの買い物を楽しめる「ショッピング」、市の復興の歩みやササの生態などを紹介する「シャークミュージアム」で気仙沼の歴史や文化、なわいなどに触れる「学び」をキーワードとした構成となっています。

また、「気仙沼市観光サービスセンター」では、市内の見どころや食べ歩き、宿泊などの情報を得られるほか、観光案内ツアー、震災語り部ツアーの予約もできます。気仙沼ならではの美味しさ、楽しさ、発見が満載です。ぜひお越しください。

No.7 霧島市広報(3月号)

被災地、復興はまだ道半ば

霧島市では、被災地の復興支援を継続しています。霧島市では、被災地での支援活動や物資の提供などを行ってきました。今後も被災地のニーズに応じ、可能な限り被災地支援を行っていきます。

霧島市観光課 TEL 0226-22-3438

一般社団法人 気仙沼観光コンベンション協会 TEL 0226-22-4560